2017年度トピックス

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

当社IoTソリューションが採用された ブラザーエンタープライズ社製 IoT LED ライト 「MAmoria it（マモリアアイティー）」先行発売

株式会社ブラザーエンタープライズ「MAmoria it」には、
当社IoTソリューション「Aplix ConstantBridge IoT Platform」
が採用されています。
「MAmoria it」 は「au 発表会 2017 Spring」でauの

まいにちをMAmoria itと過ごそう

公式アクセサリー
「au+1collection
SELECT」商品として
紹介されたほか、
auショップ及び
auOnline Shopで
2017年２月から
購入可能となりました。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Aplix

米国 Guardian社製空気清浄機操作のためのAlexa Skillを提供開始
当社IoTソリューション採用空気清浄機がAmazon Echoなどで操作可能に

当社IoTソリューション採用の空気清浄機「CDAP4500BCA」を、
「Alexa」を使って音声で操作するためのAlexaスキル「Guardian Technologies」を
開発し、Amazon.comの「Alexa Skills Store」で提供開始しました。

この「Guardian Technologies」により、 「CDAP4500BCA」 は
「Amazon Echo」や「Echo Dot」などのAlexaデバイスから
音声で操作できるようになりました。

家電製品を「Alexa」対応する場合、通常は専用のハードウェアを設計し、
Alexaデバイスとクラウドを介して通信する機能が必要であり、時間とコストが
かかります。当社のIoTソリューションを利用することで、
スピーディに「Alexa」に対応することが可能です。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

専用サーバの構築や維持費が不要
スマホのPUSH 通知で動作するANCSプラットフォーム
「Aplix ConstantBridge IoT Platform」の提供開始

多くのIoT製品では、通信内容や通信先の管理のために、専用サーバやクラウドシステムといった大規模なシステムと、それらの継続的な維持・管理が必要となり、そのためのコストが問題となっています。

「Aplix ConstantBridge IoT Platform」は、専用のサーバを立てることなく、ANCS（Apple Notification Center Service）を使用したPUSH通知連携による機器操作を可能にするIoTプラットフォームです。

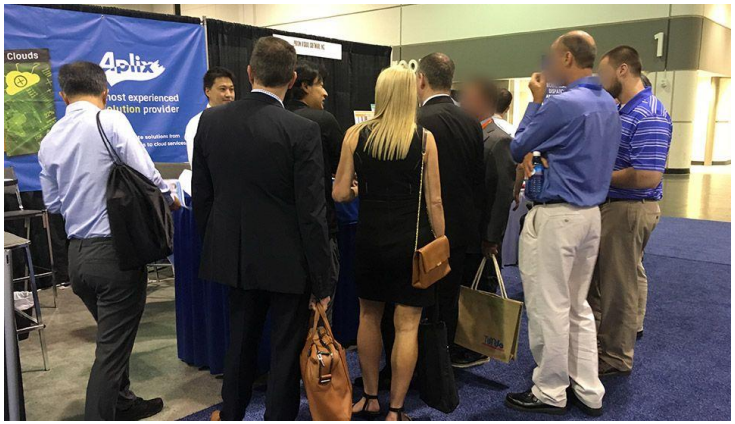
「Aplix ConstantBridge IoT Platform」を採用した最初の製品が、株式会社ブラザーエンタープライズ製IoT LEDライト「MAmoria it」です。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

新製品・外付けIoTユニット「IoTIZR™（アイオータイザー）」を含む浄水器のIoT化に最適なトータルソリューションを提供開始

「IoTIZR ™（アイオータイザー） 」は、各種センサーと接続し、センサーから受けた情報をスマホやクラウドに発信する小型のユニットです。

「IoTIZR」を含む、浄水器のIoT化に最適なソリューションを米国及びヨーロッパで提供開始し、浄水器業界向けの展示会「WQA Convention & Exposition」で、流量センサーが計測した水の量を、「IoTIZR」がWi-Fi経由でアプリックスのクラウドに送信するIoTソリューションの展示・デモを行いました。



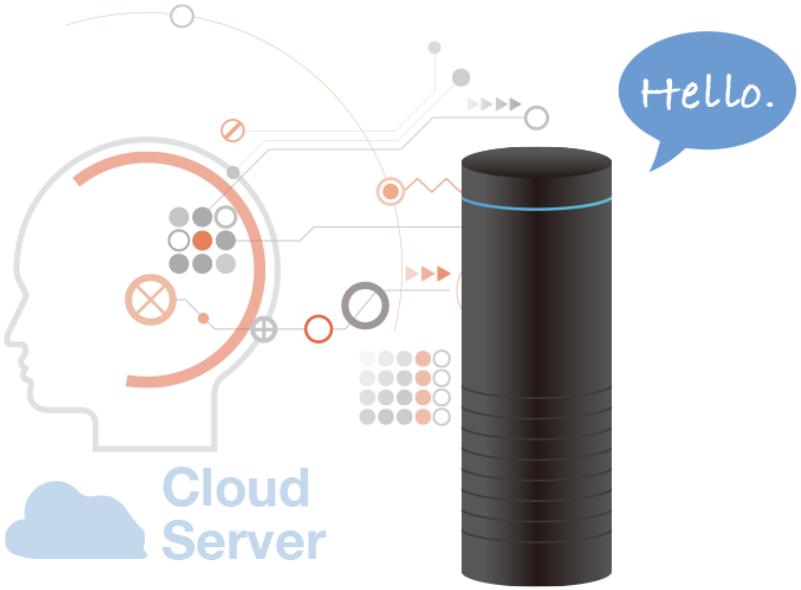
Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon Alexa対応家電向けトータルIoTソリューションを発売
～音声で操作できる家電の開発を支援～

米国Amazon.com, Inc. が提供する音声認識機能「Alexa」を利用する家電の需要が高まりつつあることを受け、家電メーカー向けのトータルIoT（Internet of Things）ソリューションを発売しました。

本ソリューションには家電と「Alexa」との連携に必要となるAlexaスキルをはじめ、IoTモジュール、クラウドシステムなどが含まれています。

Alexaスキルや通信用のハードウェアなどの開発をアプリックスが担当することにより、音声で操作できる家電のスピーディな市場投入を支援します。



Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon Alexaを利用したUX改善に関する共同研究を株式会社チェンジと開始
～音声インタフェースによる新しいビジネスチャンスの創出へ～

アプリックスと、株式会社チェンジ（本社：東京都港区、代表取締役：福留大士）は、米国Amazon.com, Inc.が提供する音声認識機能「Alexa」を利用して、各種製品やサービスのUX（ユーザー体験）を改善するための共同研究を2017年６月に開始しました。

まず両社で、音声による発注が可能となることにより、eコマース（電子商取引）がどのように変化するかについての研究を進めます。国内において「Alexa」にいち早く取り組んできた両社が、相互の強みを持ち寄って共同研究を実施することにより、音声で操作できる、UXに優れた新しい製品やサービスを両社で開発し、国内外の顧客に提案していく予定です。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

BLEモジュール製品「MyBeaconシリーズ近接域特化型MB004 At」の後継機種「MB004 At-DR1」発売

生産終了していたBLEモジュール製品「MyBeaconシリーズ 近接域特化型 MB004 At」について、お客様からの高い要望などを受け、2017年４月１日から当社ECサイト「mybeacon-store」で、後継機種「MB004 At-DR1」を発売しました。

「MB004 At-DR1」は隣接設置などの用途に適したBeaconで、電波が届く範囲を最小で約15cm、最大でも約２ｍに限定しています。

展示会場や商品棚などで近距離に複数台設置していても電波干渉が抑えられ、近くを歩く人のスマートフォンに、最も近い「MB004 At-DR1」からの情報をスムーズに表示し、切り替えることができます。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

アプリックスの浄水器向けIoTソリューション採用のフィルター・モニタリング・デバイス、世界的キッチンメーカーFrankeから発売

アプリックスの浄水器向けIoT ソリューションが採用されたフィルター・モニタリング・デバイス「FM100」が、Franke から発売されました。

「FM100」においてアプリックスは、以下のIoTソリューションの開発・提供を行っています。

■ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント
アプリックスの「ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント」に対して、「Franke」ロゴの追加など、「FM100」向けのカスタマイズを行ったものです。浄水器を買い替えたり改造したりすることなく既存の浄水器をIoT化できることが、「FM100」の大きな特長です。

■iPhone／Android向けアプリ「StillPure™ by Franke」

■クラウドシステム

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Bluetooth Low Energy（BLE）モジュールの累計出荷台数が42万台突破
～ 当社BLEモジュール搭載製品の発売などにより出荷が加速 ～

アプリックスで開発し、国内外に販売しているBluetooth Low Energy（BLE）モジュールの出荷台数が、2017年６月末に累計で42万台を突破しました。

アプリックスでは2012年８月に最初のBLEモジュール「JM1」を発売し、2017年６月末にBLEモジュールの累計出荷台数は42万台を突破しました。

2016年７月に累計出荷台数30万台突破を発表して以来、2016年７月から2017年６月までの1年間では12万台を超すBLEモジュールを出荷することができました。

これは、当社BLEモジュールを搭載したお客様の製品の発売や、「MyBeaconシリーズ」の販売が順調に推移したことなどによるものです。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

浄水器につなぐだけでIoT化できるオールインワンパッケージ「HARPS Aqua」を開発

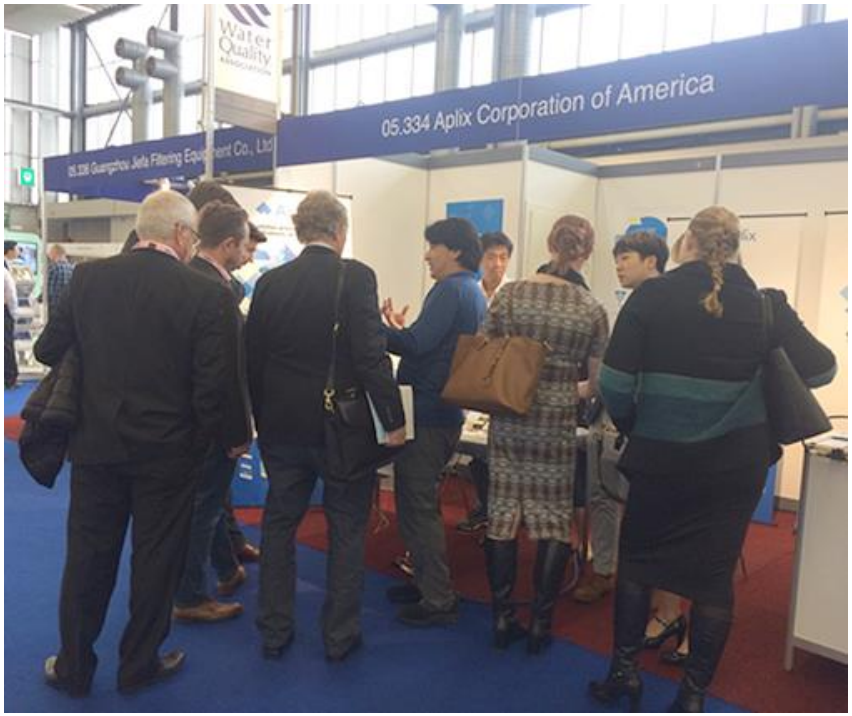
既存の浄水器をインターネットにつなぎ、クラウド上で管理するためのパッケージ製品「HARPS Aqua（ハープス・アクア）」を開発しました。

浄水器をIoT化したいというニーズは多く、アプリックスではこれまでも「ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント」を開発したり、浄水器本体に組み込むためのIoTモジュールを提供したりしてきました。

それらで培った経験やお客様から頂いた声を基に、さまざまな浄水器や設置環境に柔軟に対応でき、かつ簡単に使用開始できることを追求して生まれたパッケージ製品が「HARPS Aqua」です。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「Aquatech Amsterdam 2017」で「HARPS Aqua」を展示
モニター登録いただいた企業が200社を超えるなど、好評を博す



※ 「HARPS Aqua」 は、2018年春の日本、アメリカ、及びヨーロッパ発売に向け、
2018年２月14日（水）～16日（金）に東京ビッグサイトで開催される
「InterAqua 2018 第９回国際水ソリューション総合展」に出展中です。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

通販サイト「mybeacon-store」で、「MyBeaconシリーズ歳末キャンペーン」実施

■アプリックスの通販サイト「mybeacon-store（マイビーコン・ストア）」において、11月16日（木）正午から12月15日（金）15時まで、「MyBeacon（マイビーコン）シリーズ歳末キャンペーン」を開催します。本キャンペーンでは「MyBeaconシリーズ」の３機種を、**数量限定で10%オフで販売**します。

■さらに2017年11月16日（木）正午から12月15日（金）15時まで、「MyBeaconシリーズ歳末キャンペーン第２弾」を開催します。本キャンペーンはBeaconの評価や試作、また趣味や学習のために、「MyBeaconシリーズ」を数個だけ購入したいというお客様の声にお応えしたものです。「mybeacon-store」では通常、「MyBeaconシリーズ」の「汎用型」と「近接域特化型」をそれぞれ10個セット、「防水防塵型」を５個セットで販売していますが、本キャンペーンでは**それぞれ１～３個セットとし、数量限定で１万円均一（送料込・税込）で販売**します。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「Sigfoxパートナープログラム」に参加
～ LPWAの１つであるIoT向け無線通信技術「Sigfox」を用いたIoTソリューションを提供 ～

京セラコミュニケーションシステム株式会社（以下「KCCS」）が運営する「Sigfox（シグフォックス）パートナープログラム」に、2017年11月27日付で参加しました。
アプリックスは、Sigfoxの低消費電力、低価格、長距離伝送、簡便性、グローバル展開といった特長を活かしたコンサルテーション、アプリケーションの開発、サービスの構築とその運用などの提供を、2017年12月から開始します。

Sigfox：
LPWA（低消費電力で、km単位での通信が可能な無線通信技術の総称）に属する規格の１つ。フランスのグローバル通信事業者であるSigfox S.A.がIoT用のネットワーク規格として提供しており、日本ではKCCSが2017年２月から事業者としてサービスを提供している。
＜KCCSのSigfox Webサイト＞ http://www.kccs.co.jp/sigfox/index.html

Sigfoxパートナープログラム：
Sigfoxに対応したデバイス、アプリケーション、インテグレーションサービスなどの提供を行う企業・団体が所属。
＜Sigfoxパートナープログラム Webサイト＞ http://www.kccs.co.jp/sigfox/partner/

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

「第５世代モバイル推進フォーラム（5GMF）」に参加
～ 第５世代移動通信システム（5G）に対応したIoTソリューションの開発にも着手 ～

「第５世代モバイル推進フォーラム（以下「5GMF」）」に2017年12月19日付で入会しました。今後アプリックスは、5GMFが進めている「第５世代移動通信システム（以下5G」）」の早期実現に係る活動に携わり、日本における2020年の5G実用化を目指すとともに、アプリックス内においても5Gに対応したIoTソリューションの研究開発を行っていきます。

アプリックスは、5GMFの活動を通じて得た5Gに関する知識を今後の開発に活かし、お客様のニーズに応える5G対応IoTソリューションの提供を目指します。

5G：
現在の主流である「第４世代移動通信システム（4G）」の後継となる無線通信方式。
日本では5GMFが、5Gの標準化に係る調査、研究開発、普及啓蒙活動などを行っている。
＜5GMF公式サイト＞ http://5gmf.jp/

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

株式会社アプリックス
https://www.aplix.co.jp/

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

Copyright © 2019 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.